

経済から見た 中国共産党大会報告

津上 俊哉
津上工作室
代表



注目の中国共産党第19回党大会は10月18日に開幕し、習近平が恒例の報告を行った。約3万2千字、時間にして3時間半近く……長い演説だった。

高揚感を以て理念を語る

報告には「新時代の中国の特色ある社会主義思想」という新しい語彙が登場した。今後これに「習近平」の名が冠せられる。2020年から建国百周年を迎える今世紀中葉までの約30年の道のりを「社会主義現代化の基本的達成期」と「社会主義現代化強国の実現期」と15年ずつの2ステップの道のりに分けた点も目新しい。報告は驚くほど自信に満ちて、理念を語った。

……自らの発展を加速し同時に自身の独立を保つことを願う世界中の国家や民族に全く新しい選択を提供し、人類の問題を解決する中国の知恵とソリューションを提供する……

手放しの自画自賛ぶりに鼻白む人もいただろうが、この十余年中国が成し遂げてきたことを振り返って達成感や誇らしさを共有した中国人も少なくなかったはずだ。習近平がしたこの演説は後世、現代中国のある種の絶頂点を体現した演説として記憶されるかもしれない。

実務的には新味なし

一方で、これまでの党大会報告は向こう5年間の具体的な施政方針を打ち出して、実務的に注目すべき点が多々あったのに、今回の習近平報告は表明済みの政策の繰り返しが多く、「初出」の新政策があまり見当たらなかった（後掲表参照）。

空前の権力を手にした習近平の二期目就任演説が「理念の語り」以外に見るべき中身があまりないのは意外だ。習近平の権力集中が強まっただけに、来年2018年にあらためて各分野で新機軸を打ち出さないと、政策の停滞感が強まってしまうだろう。

ピークを迎える中国の舞台裏

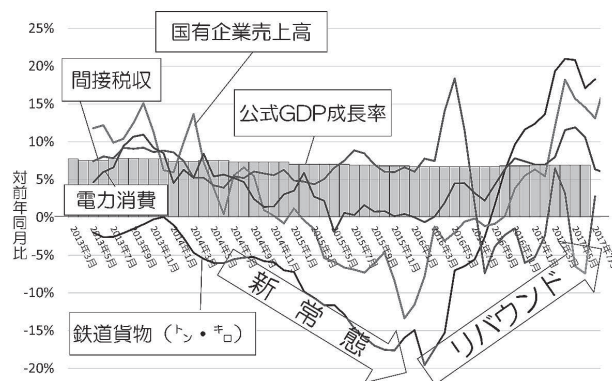
いま中国経済は元から好調なニューエコノミーに加えて、オールドエコノミーも好調だ。IMFは以前から「世界経済成長の3分の1は中国がけん引している」と評してきたが、この貢献率は今の瞬間風速では半分に近いのではないかと。誰も言わないが、いま世界経済が好調なのは、大いに「中国機関車」のおかげだと思う。

しかし、本欄でも繰り返し述べてきたとおり、投資頼み・借金頼みの成長パターンは持続可能ではない。収益や経済効果を生まない投資を続ければ、古い借金の消込が進まずに、新しい借金が積み上がる一方だ。

1期目の習近平政権も、これは持続不可能と考えて2014年以降借金と投資にブレーキをかけて、成長のエンジンをニューエコノミーの成長や供給サイド改革に求める軌道修正をもくろんできた（「新常態」路線）。このせいで、バブル需要に依存してきた重厚長大のオールドエコノミーは著しい不況に陥ったが、習近平が陣頭指揮したので、この路線は2015年まで続いた。

しかし、不景気の我慢もそこまで。2016年が始まると全く逆のことが起きた。「もうやらない」はずの投資アクセルが踏み込まれ、不振の一途だったオールドエ

図 ひっくり返された「新常態」路線



出所：統計局、人民銀行、鉄道総公司、電力企業連合会
注：間接税収は「营改増」税制の影響を補正済み
各経済統計の対前年同月比の数字を3区間移動平均線を表示

コノミーが一気に息を吹き返したのだ。

「新常態」路線が2016年にひっくり返されてしまったのは、習近平政権がとうとうとした路線が地方政府、重厚長大業種、建設業、などなど経済運営に関する共産党体制のコンセンサス（重心）から離れ過ぎていたからにほかならない。

たとえ短期的に成長が低下しようと、持続的成長を目指して不良債権の処理や供給サイドの改革などを進めるべきだとする「新常態」派の代表格は、習近平の経済参謀といわれる劉鶴だ。彼に対する習近平の信任が厚いことは、今回の人事で政治局員に昇格させたことでもわかる。しかし、新常態派と投資推進・成長維持派との人的勢力比は恐らく10：90くらいだろう。「権力集中」がいわれる習近平とて、こんなに多勢に無勢では我を通せないのだ。

投資推進・成長維持派は、楽観的な成長見通しが優勢だった2013年に習近平がした公約をよりどころにしている。「2020年のGDPと国民一人当たりの平均収入を2010年の2倍にする」ことを「全面小康社会の達成＝共産党創立百周年に達成すべき『中国夢』」と

位置づけた公約だ。その後、構造改革派はこの数値目標見直しを試みたが、撤廃までは果たせなかった。

今回の党大会報告では「全面小康社会の達成」には触れたが、「GDP 2倍」には明示的に触れなかった。このことをもって「成長率へのコミットが弱まった」と評するメディアもあったが、今世紀中葉までの約30年を2ステップの道なりに分けたこと（前述）について記者会見を行った中央財經領導小組弁公室副主任は、「2020年以降の『2ステップ』においては『GDP 2倍』式の目標を掲げずに、質・効率・動力を重視した成長を目指す」と表明した。グッドニュースは「2020年以降の成長数値目標が消えることだが、バッドニュースは2020年までは、なおもGDP 2倍目標を追求することが裏側から確認されたことだ。

2009年に始まった「4兆元投資政策」以来、行われた「固定資産投資」の合計額は、今年上半期で347兆元（≒5900兆円）に達した。来年上半期には400兆元（≒6800兆円）を突破するだろう。2020年の「GDP 2倍」目標達成まで、中国はあとどれくらいの「投資」と負債を積み重ねるのだろうか。



第19回党大会報告 経済関連部分の抜粋
供給側構造改革を深化させる 『製造強国』づくり、インターネット、ビッグデータ、AIと実体経済を結合してエコ、シェアリング経済、現代サプライチェーン、ヒューマンキャピタルサービスなどの分野で新産業を育成、陸水空運などのインフラを強化、過剰生産能力・過剰在庫、過剰レバレッジを削減し、創業を促す
創新型国家を建設する 基礎・応用研究を強化して、科技強国、品質強国、航空宇宙強国、ネット強国、交通強国、デジタルチャイナ、智能社会を構築する
郷村振興戦略を実施する 「三農」問題を重視し、農業農村優先発展の方針を堅持、都市・農村融合発展体制づくり、土地工作請負権を改めて30年延長、農村集体物権制度改革、小規模農家と原載農業発展を有機的に結合、農村六次（1・2・3次）産業融合発展を図る
地域の協調発展戦略を実施する 西部大開発、東北振興、中部崛起、都市クラスターを主体とした都市・小城镇協調発展、農業人口の市民化を図る。京津冀共同发展の中で「雄安新区」を建設する
社会主義市場経済を一層改善する 国有資産管理・国有資本経営体制を改善し、国有経済の配置を改善し、国有資本を強く大きく優秀にする、国有企業改革を深化させ、混合所有経済を発展させてグローバルな競争力を備えた一流企業を育成する 市場参入規制のネガティブリスト化を全面实施、領土企業の発展を支持し市場主体の活力を活かす 現代財政制度を建設し、明確でバランスのとれた中央・地方財政関係を確立する 金融体制改革を深化し、資本市場の健康な発展を促す。貨幣政策とマクロブレンデンスによる監督を二本柱として金利・為替の市場化改革を深化させるとともに、金融システムリスクの発生を防止する
全面（対外）開放の新局面を構築する 一帯一路建設を重点とし、資本の導入と移出をともに盛んにし陸海内外連動・東西双方向互恵の快方局面を構築する。対外貿易を発展させて貿易強国を建設する。高水準の貿易投資自由化・利便化を実施、投資前内国民待遇とネガ・リスト管理を全面实施、サービスの対外開放外資保護を拡大する
雇用の質と国民収入水準を引き上げる 就業優先政策をとり豊富で質も高い雇用を実現する、職業技能訓練を拡大、企業による就業を促す 収入分配の合理化・秩序化を促し、中低階層の所得を増やし高すぎる階層の収入を調整する。生産性と労働報酬の歩調の合った引き上げを図る
社会保障体系建設を加速する 国民すべてをカバー、都市農村を統合し、透明で持続可能な多層的な社会保障体系を全面的に完成させる 国民皆保険を全面实施、勤労者養老保険と国民基本養老保険を改善し養老保険会計の全国統合を早期実現する
貧困を撲滅する 総力をあげて、2020年に貧困人口と貧困地区を全面的に解消する
生態文明建設を急ぎ「美しい中国」を建設する グリーン・低排出・循環型の経済体系を構築、環境産業を発展させ、エネルギーの生産消費、資源の節約循環利用、水資源の節約を実現して経済社会のグリーン発展を進める 大気・水質汚染防止に力を入れ、廃棄物対策を強化、環境ガバナンス体系を建設する グローバル環境ガバナンス構築に積極参加、温暖化ガス排出削減を実行する